

「将来の夢は?」「楽しい思い出」「私の好きなスポーツ」など、テーマにあった作品を考える

# 人体芯材をつかってつくろう

## 作品づくりのオススメポイント

- 人体芯材を使う事により、プロポーションのバランス良く、壊れにくい作品に仕上がります。
- 人体芯材には部品を組み立てて使用する物と、組み立て不要の物があるので目的に応じて使い分けましょう。
- 人間の筋肉の付き方や体の仕組み、関節の曲がり方などを考えてポーズをつくりましょう。

## 用意するもの



●かがるナビット(L)

- らくらくスピード人体芯材
- 粘土板
- ヘラ
- 水彩絵の具
- 金づち
- ペンチ
- 伸ばし棒



1 関節を折り曲げて、ポーズを決めます。

**POINT** つくる前に絵を描きポーズや服装、小物などつくる物をまとめておきます。



2 足首を曲げ、止め具で台板に固定します。

**POINT** ペンチなどで足首をしっかり折り曲げておきます。



3 小道具を持たせる場合は割り箸などを固定します。

**POINT** セロハンテープなどで、芯をしっかり固定します。



4 台板に近い足からしっかりと粘土を盛りつけます。

**POINT** 足から上へ粘土を盛ると作品が傾きにくくなります。



5 全体に粘土をつけ、人の形にしています。

**POINT** 体全体に少しずつ芯材をおおうように粘土を盛りつけます。



6 靴、ズボン、上着、髪などを具体的に仕上げています。

**POINT** 服は伸ばし棒で薄くした粘土を巻き付けると着ている感じに仕上がります。



7 小道具をつくり仕上げ、乾燥させます。

**POINT** 乾燥後に粘土の部品が取れた場合は木工用のボンドで接着します。



8 粘土が乾燥後、絵の具で着色して完成です。

**POINT** 台板にも色を塗ると作品の完成度が上がります。

